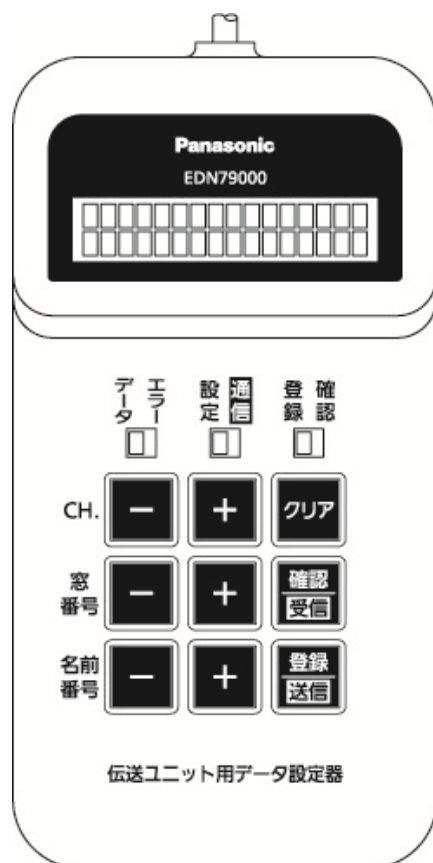
保管用

Panasonic®

取扱説明書

出退表示システム

伝送ユニット用データ設定器

EDN79000

●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」（3ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
万一、取扱説明書に従わず、使用された場合は責任を負いかねることがあります。

もくじ

安全上のご注意 3

Ⅰ．概要 4

　　１．アドレスデータ 4

Ⅱ．各部の名称とはたらき 5

Ⅲ．伝送ユニットとの接続方法 6

Ⅳ．データ設定器の電源について 7

　　１．電源の供給について 7

　　２．データのバックアップ 7

Ⅴ．運用手順 8

　　１．新規設定を行うとき 9

　　２．運用中のデータを変更するとき 9

　　３．別の件名でデータ設定器を用いるとき 9

Ⅵ．操作方法 10

　　１．モード・色順データの登録 10

　　２．アドレスデータの設定・削除 11

　　３．モード・色順データの確認 13

　　４．アドレスデータの確認 14

　　５．伝送ユニットへのアドレスデータの登録 16

　　６．伝送ユニットからアドレスデータの読み出し 17

　　７．伝送ユニットからエラーデータの読み出し 18

　　８．エラーデータの確認 19

　　９．バックアップデータの復元 20

Ⅶ．お手入れ方法 21

　　１．日常のお手入れ 21

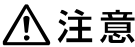
　　２．電池の交換方法 22

Ⅷ．トラブルが発生したとき 23

Ⅸ．仕様 24

アフターサービス 裏表紙

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される内容」です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
必ず守る	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

⚠警告	
禁止	**●機器を分解したり、修理・改造は絶対にしない。** ～事故の原因となります～
	●屋外には設置しない。 ～湿気や水気のある所で使用すると、感電や火災の原因となります～
	●ぬれた手で機器をさわったり、水をつけたり、かけたりしない。 ～感電の原因となります～

⚠注意	
禁止	**●出退表示システム伝送ユニット以外に接続しない。** ～故障の原因となります～
必ず守る	**●電池は早めに交換する。** ～守らないと、データが消失する可能性があります～

Ⅰ．概要

本商品は、出退表示システム伝送ユニット（EDN76210）専用のデータ設定器です。
この設定器により伝送ユニットで管理するアドレスデータ（出退表示位置情報）をお客様の運用に合せて自由に設定することが可能です。

1．アドレスデータ

アドレスデータは以下の番号の組み合わせにより成り立っています。
伝送ユニットでは各機器の出退情報をチャンネル番号・窓番号・名前番号という 3 種類の番号の組合せをアドレスデータとして管理しています。

チャンネル番号	1～255	各機器固有の番号です。
窓番号	1～30	出退情報を管理する機器において、表示位置もしくは操作位置を表す番号です。各機器ごとに決まっています。
名前番号	1～250	出退情報を管理する名前を ID 番号で管理します。

※伝送ユニットにはあらかじめ固定のアドレスデータをデフォルト値として設定しています。

●オフィスサイン 固定アドレスデータ（出退表示システム伝送ユニットデフォルト値）

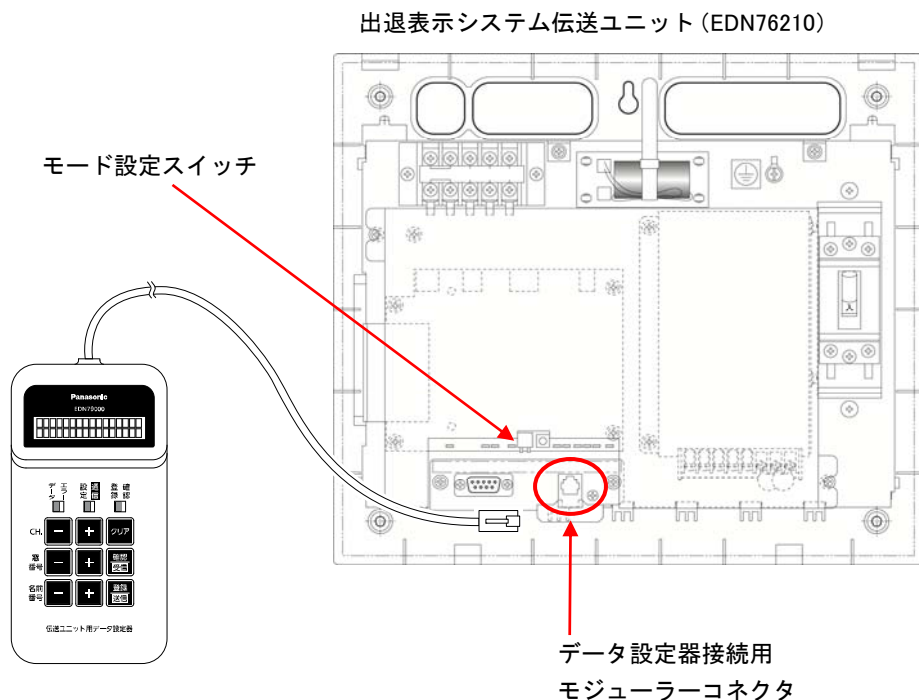
接続機器	チャンネル番号	窓番号	名前番号
個別操作器 入力端末器 表示ランプ	1 2 3 ～ 120	1	1 2 3 ～ 120
集中操作器 集中表示器 （24 窓）	129 130 131 132 133	1～24	1～24 25～48 49～72 73～96 97～120
集中操作器 集中表示器 （28 窓）	209 210 211 212	1～28	1～28 29～56 57～84 85～112
卓上型操作器（個別用）（24 窓表示付）	161 162 ～ 184 185 186 ～ 208	1～24・25	1～24・1 1～24・2 ～ 1～24・24 25～48・25 25～48・26 ～ 25～48・48

接続機器	チャンネル番号	窓番号	名前番号
卓上型操作器(個別用)（28 窓表示付）	213 214 ～ 220	1～28・29	1～28・1 1～28・2 ～ 1～28・8
壁掛型表示盤 MAX30 窓	137 138 139 140	1～30	1～30 31～60 61～90 91～120
表示ユニット （4 窓）	225 226 227 ～ 254	1～4	1～4 5～8 9～12 ～ 117～120

※M 型伝送ユニット（EDN72201K）（2006 年 12 月生産終了）の設定情報から応答連絡、呼出表示用を削除したアドレスと同じです。

Ⅱ．各部の名称とはたらき

名称		はたらき
①	液晶表示部	作業の状態をガイダンス表示します。
②	データモード切替スイッチ	アドレスデータを登録、確認します。 データを送受信するときはデータに、エラーの受信・確認するときはエラーに切り替えます。
③	通信モード切替スイッチ	伝送ユニットに接続し、通信を行うときは通信に切り替えます。
④	操作モード切替スイッチ	アドレスデータの登録・修正および送信をするときは登録に、アドレスデータ・エラー内容の確認および受信を行うときは確認に切り替えます。
⑤	チャンネル番号設定ボタン	登録・確認時、チャンネル番号表示部の番号を変更します。
⑥	窓番号設定ボタン	登録・確認時、窓番号表示部の番号を変更します。
⑦	名前番号設定ボタン	登録・確認時、名前番号表示部の番号を変更します。
⑧	クリアボタン	表示中の１データや全データ（登録ボタンと同時押し）をクリアします。
⑨	確認／受信 ボタン	アドレスデータの名前番号による検索確認、通信モードにおいて伝送ユニットからのデータ受信操作を行います。
⑩	登録／送信 ボタン	アドレスデータの登録、通信モードにおいて伝送ユニットへのデータ送信操作を行います。
⑪	電源スイッチ	電源の ON/OFF を行います。
⑫	電池カバー	電池を収納しています。
⑬	モジューラーコネクタ	伝送ユニット（EDN76210）接続用コネクタです。

Ⅲ．伝送ユニットとの接続方法

①伝送ユニットの前面ケースを外します。
②伝送ユニットのモード設定スイッチを 1：OFF/2：OFF（設定情報）にします。
　設定後もモード設定スイッチは 1：OFF/2：OFF のままとしてください。
③伝送ユニットのモジューラーコネクタにデータ設定器のモジューラーコネクタを接続します。

接続中は、ケーブル、コネクタに負荷がかからないようにデータ設定器を保持してください。

【注意】
データ設定器と伝送ユニット間で通信を行うときは、必ず伝送ユニットとデータ設定器を接続してください。

Ⅳ. データ設定器の電源について

１. 電源の供給について

データ設定器の電源供給方法は以下の 2 通りです。
　1）伝送ユニット（EDN76210）に接続時はケーブルを通じて電源供給。
　2）電池（006P アルカリ電池：9V）を装着すれば、伝送ユニットに接続せずに単独作業可能。

[電池で作業を行うときのご注意]
・データの設定・確認作業、エラーの確認作業が可能です。ただし、通信作業は必ず伝送ユニットと接続して行ってください。
・液晶画面が薄くなれば、電池の交換時期です。設定データのバックアップ保存後、早めに電池を交換ください。（→P.22「Ⅶ-2. 電池の交換方法」参照）
　連続作業時の動作可能時間は推奨電池で約 15 時間です。
・電源スイッチが「切」状態においてもメモリ情報保持のため、電池は消耗し続けます。
　電源スイッチが「切」で保管状態のメモリ保持時間は推奨電池で約１年です。
　長時間ご使用にならないときは、バックアップ保存後、電池を外して保管ください。
・３分間以上キー操作がなければ、自動で電源スイッチは「切」状態になります。
　再度、電源スイッチを「切」→「入」操作で「入」状態に戻ります。

２. データのバックアップ

　登録データは確認や送信のためにモードスイッチを切り替えるタイミングで、バックアップデータを保存しています。下記のような場合は必ずモードスイッチを切り替えてバックアップ保存状態で電源をお切りください。
・　設定データの登録・修正の途中作業を中断するとき
・　登録・修正後、伝送ユニットに送信する前に作業を中断するとき
・　伝送ユニットからデータを受信後、作業を中断するとき
・　電池を交換するとき
・　伝送ユニットの設定作業が終了し、長時間ご使用にならないとき

　設定中のデータはメモリに保持しており、電池が切れると消えてしまいますが、再度、電源供給するとバックアップ時のデータが復元されます。

【注意】
　バックアップ後に設定したデータを復元することはできません。

Ⅴ. 運用手順

下図は簡易手順です。詳細は、次項を参照してください。

１．新規設定を行うとき

	手順	参照ページ
1	**モード・色順・アドレスデータの登録を行います。**	
	・件名に合わせて、モード・色順を登録します。	「VI-1.モード・色順データの登録」(→P.10)
	・プログラムB表（→伝送ユニット施工説明書 参照）に基づいてアドレスデータを登録します。	「VI-2.アドレスデータの設定・削除」（→P.11）
2	**登録データを確認します。**	
	・１で登録した内容を確認します。	「VI-3.モード・色順データの確認」(→P.13) 「VI-4.アドレスデータの確認」（→P.14）
	・登録誤り、抜けがあった場合は修正します。	「VI-1.モード・色順データの登録」(→P.10) 「VI-2.アドレスデータの設定・削除」（→P.11）
3	**伝送ユニットにデータを登録します。**	
	データ設定器を伝送ユニットに接続し、データ設定器の登録データを伝送ユニットに設定します。	「VI-5.伝送ユニットへのアドレスデータの登録」（→P.16）
4	**機器動作を確認します。**	
	・各機器を操作し、登録したアドレスどおりに動作するか確認します。	
	・動作状態が設定通りでないときは、各機器の接続状態を確認するためにデータ設定器を伝送ユニットに接続し、エラーデータを取り込みます。	「VI-7.伝送ユニットからエラーデータの読み出し」（→P.18）

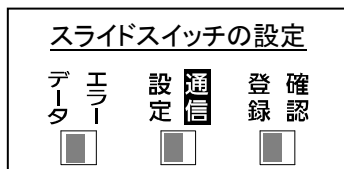
２．運用中のデータを変更するとき

	手順	参照ページ
1	**運用中のデータを取り出します。**	
	・データ設定器を伝送ユニットに接続し、伝送ユニットの登録データをデータ設定器に取り込みます。	「VI-6. 伝送ユニットからアドレスデータの読み出し」（→P.17）
2	**登録データを修正します。**	
	・登録データの修正箇所を検索します。	「VI-4.アドレスデータの確認」（→P.14）
	・登録データを修正･追加します。	「VI-2.アドレスデータの設定・削除」（→P.11）
	・上記２つを繰り返します。	
3	**伝送ユニットにデータを登録します。**	
	データ設定器を伝送ユニットに接続し、データ設定器の登録データを伝送ユニットに設定します。	「VI-5.伝送ユニットへのアドレスデータの登録」（→P.16）

３．別の件名でデータ設定器を用いるとき

手順	参照ページ
設定データの初期化設定をします。	
・データの一括削除を行います。	「VI-2.アドレスデータの設定・削除」（→P.11）
・新規設定手順に従い、行ってください。	「V-1.新規設定を行うとき」（→上項）

Ⅵ. 操作方法

1．モード・色順データの登録

スライドスイッチの設定

データ / エラー	設定 / 通信	登録 / 確認

①表示内容 SW：データ、通信モード SW：設定、操作モード SW：登録 とします。

※出荷時は左記状態なので、最初はこの操作は不要です。

※データモード切替、通信モード切替を行ったときは、モード・色順データから表示されますが、操作モード切替を行ったときは確認モードで表示されていたチャンネル番号・窓番号・名前番号が表示されます。

チャンネル番号の［＋］／［－］ボタンを押してモード設定画面に切り替えます。モード設定画面は、チャンネル番号の「1」の前、「255」の後に表示されます。

```
モード゛ ：2
イロシ゛ュン：B＞G
```

②窓番号の［＋］／［－］ボタンを押し、モードを選択します。
色順は下記の表を参照に選択します。
モード数は、2、3、4 から選択します。

```
モード゛ ：4
イロシ゛ュン：B＞G＞R＞Y
```

［例］窓番号の［＋］ボタンを 2 回押し、モードを 4 に変更します。

③名前番号の［＋］／［－］ボタンを押し、色順データを選択します。
色順は下記の表を参照に選択します。

モード	色順	
2	1：B＞G 2：B＞R 3：B＞Y	1：消→緑 2：消→赤 3：消→橙
3	1：B＞G＞R	1：消→緑→赤
4	1：B＞G＞R＞Y 2：B＞R＞G＞Y 3：B＞Y＞G＞R 4：B＞G＞Y＞R 5：B＞R＞Y＞G 6：B＞Y＞R＞G	1：消→緑→赤→橙 2：消→赤→緑→橙 3：消→橙→緑→赤 4：消→緑→橙→赤 5：消→赤→橙→緑 6：消→橙→赤→緑

```
モード゛ ：4
イロシ゛ュン：B＞R＞G＞Y
```

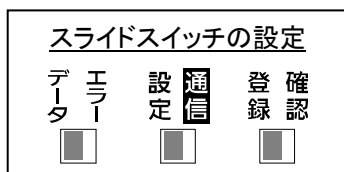
［例］名前番号の［＋］ボタンを 1 回押し、色順を消→赤→緑→橙 に変更します。

④［登録］ボタンを押します。

【注意】

データ設定器と伝送ユニットを接続した状態で設定しても、データ設定器の設定状態が変わるだけで伝送ユニットの設定状態は変わりません。

伝送ユニットの設定状態を変更するときは通信モードに切替えて送信作業（→P.16「Ⅵ-5.伝送ユニットへのアドレスデータの登録」参照）を行ってください。

２．アドレスデータの設定・削除

スライドスイッチの設定

データ	エラー	設定	通信	登録	確認

①表示内容 SW：データ、通信モード SW：設定、操作モード SW：登録 とします。
※出荷時は左記状態なので、最初はこの操作は不要です。
※データモード切替、通信モード切替を行ったときは、モード・色順データから表示されますが、操作モード切替を行ったときは確認モードで表示されていたチャンネル番号・窓番号・名前番号が表示されます。
モード設定画面が表示されているときはチャンネル番号の［＋］／［－］ボタンを押してアドレスデータ設定画面に切り替えます。

②チャンネル番号の［＋］／［－］ボタンを押し、チャンネル番号を選択します。
チャンネル番号は 1～255 の範囲で設定可能です。

③窓番号の［＋］／［－］ボタンを押し、窓番号を選択します。
窓番号は 1～30 の範囲で設定可能です。

設定・修正するとき

```
チャンネル：００１　マド゛：０１
　　ナマエバ゛ンコ゛ウ：００１
```

④名前番号の［＋］／［－］ボタンを押し、名前番号を選択します。名前番号は 1～250 の範囲で設定可能です。

⑤［登録］ボタンを押します。

同一チャンネル番号について窓番号～名前番号～登録を繰り返します。（③～⑤繰り返し）

１つのチャンネル番号について登録が完了すれば、チャンネル番号を切り替えます。（→②に戻る）

```
テ゛ータホソ゛ンチュウ
```

⑥スライドスイッチの操作モード SW：確認 に切り替えると、データがバックアップ保存されます。
（表示内容 SW：エラー、通信モード SW：通信 に切り替えても同様にバックアップ保存されます。）

削除するとき

①～③（→前ページ　参照）

チャンネル：００１　マト゛：０１ ナマエバ゛ンコ゛ウ：－－－

④[クリア]ボタンを押し、名前番号表示部を「－－－」とします。
名前番号の［＋］／［－］ボタンを押すと、名前番号が表示されます。名前番号は 1～250 の範囲で設定可能です。

⑤［登録］ボタンを押します。

同一チャンネル番号について窓番号～名前番号～登録 を繰り返します。（③～⑤繰り返し）

１つのチャンネル番号について削除が完了すれば、チャンネル番号を切り替えます。（→②に戻る）

テ゛ータホソ゛ンチュウ

⑥スライドスイッチの操作モード SW：確認 に切り替えると、データがバックアップ保存されます。
（表示内容 SW：エラー、通信モード SW：通信 に切り替えても同様にバックアップ保存されます。）

全アドレスデータ一括削除するとき

①（→前ページ　参照）

②[クリア]ボタンと［登録］ボタンを同時に 3 秒間押します。

テ゛ータサクシ゛ョチュウ

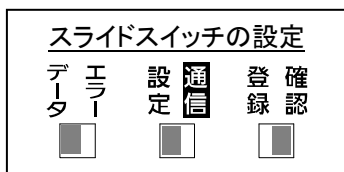
③削除中の表示が消えれば、削除完了です。

テ゛ータホソ゛ンチュウ

スライドスイッチの操作モード SW：確認 に切り替えると、バックアップデータも削除されます。
（表示内容 SW：エラー、通信モード SW：通信 に切り替えても同様にバックアップデータは削除されます。）

【注意】
　データ設定器と伝送ユニットを接続した状態で設定しても、データ設定器の設定状態が変わるだけで伝送ユニットの設定状態は変わりません。
　伝送ユニットの設定状態を変更するときは通信モードに切替えて送信作業（→P.16「Ⅵ-5.伝送ユニットへのアドレスデータの登録」参照）を行ってください。

【注意】
　作業を中断するときは、必ずいずれかのスライドスイッチを切り替えて、バックアップ保存後、電源をお切りください。
　誤ってデータを登録し、元のデータに戻したいときは、スライドスイッチを切り替えずにバックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行ってください。

３．モード・色順データの確認

①表示内容 SW：データ、通信モード SW：設定、操作モード SW：確認 とします。
※データモード切替、通信モード切替を行ったときは、モード・色順データから表示されますが、操作モード切替を行ったときは登録モードで設定されていたチャンネル番号・窓番号に登録されていた名前番号が表示されます。
チャンネル番号の［＋］／［－］ボタンを押してモード設定画面に切り替えます。モード設定画面は、チャンネル番号の「1」の前、「255」の後に表示されます。

モードﾞ ：４
イロシﾞュン：Ｂ＞Ｇ＞Ｒ＞Ｙ

②モード登録状態が表示されます。

色順を変更したいときは、操作モード SW：登録 に切り替えて修正します。（→P.10「Ⅵ-1.モード・色順データの登録」参照）

４．アドレスデータの確認

スライドスイッチの設定

データ	エラー	設定	通信	登録	確認

①表示内容SW：データ、通信モードSW：設定、操作モードSW：確認 とします。

※データモード切替、通信モード切替を行ったときは、モード・色順データから表示されますが、操作モード切替を行ったときは登録モードで設定されていたチャンネル番号・窓番号に登録されていた名前番号が表示されます。
モード設定画面が表示されているときはチャンネル番号の［＋］／［－］ボタンを押してアドレスデータ設定画面に切り替えます。

登録内容をチャンネル番号順に確認するとき

```
チャンネル：００１　マド゛：０１
　　ナマエバ゛ンコ゛ウ：００１
```

②窓番号の［＋］ボタンを押すと、登録されているアドレスデータのみ、チャンネル番号の小さい順、次に窓番号の小さい順に登録されている名前番号が表示されます。チャンネル番号も順番に切り替わります。

アドレスデータを変更したいときは、操作モードSW：登録 に切り替えて修正します。（→P.11「Ⅵ-2.アドレスデータの設定・削除」参照）

登録内容を番号指定で確認するとき

```
チャンネル：０１２　マド゛：０１
　　ナマエバ゛ンコ゛ウ：０１２
```

②チャンネル番号の［＋］／［－］ボタン押し、チャンネル番号を選択します。

③窓番号の［＋］／［－］ボタンを押し、表示される名前番号を確認します。

（②～③繰り返し）

登録内容を名前番号から検索するとき

```
チャンネル：００１　マド゛：０１
　　ナマエバ゛ンコ゛ウ：００１
```

②名前番号の［＋］／［－］ボタン押し、チャンネル番号を選択します。

③［確認］ボタンを押すと、選択した名前番号が登録されているチャンネル番号と窓番号を検索し、チャンネル番号の小さい順、次に窓番号の小さい順にアドレスデータが表示されます。

④［確認］ボタンを繰り返し押すと、登録しているチャンネル番号・窓番号が次々表示されます。登録されている一番大きなチャンネル番号、窓番号の表示後［確認］ボタンを押すとチャンネル番号に「End」が表示され、一番小さいチャンネル番号に戻ります。

名前番号の切り替えと［確認］ボタンを繰り返すことにより

登録データを確認します。（前ページ②～④繰り返し）

アドレスデータを変更したいときは、操作モードSW:登録 に切り替えて修正します。（→P.11「Ⅵ-2.アドレスデータの設定・削除」参照）

登録内容が全て削除されているとき

①（→前ページ　参照）

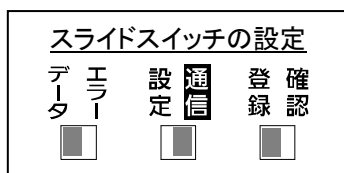
チャンネル:ーーー　マド゛:ーー ナマエバ゛ンコ゛ウ:ーーー

②チャンネル番号、窓番号、名前番号に「ーーー」が表示されます。

５．伝送ユニットへのアドレスデータの登録

伝送ユニットにデータ設定器を必ず接続してください。

スライドスイッチの設定

データ エラー	設定 通信	登録 確認

①表示内容 SW：データ、通信モード SW：通信、操作モード SW：登録 とします。

アト゛レステ゛ータ　ソウシン
ソウシンキーヲナカ゛オシスル

②［送信］ボタンを１秒間押します。

テ゛ータソウシンチュウ
>>>>>>>>>>>>>>>>

③送信中の表示が約１分間続きます。

ソウシンカンリョウシマシタ
>>>>>>>>>>>>>>>>

④アドレスデータ送信完了が表示されれば、終了です。

ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ

未接続エラー
伝送ユニットにデータ設定器を接続してください。
伝送ユニットが正常に起動しているか確認してください。
伝送ユニットのモードスイッチが「設定情報」になっているか確認してください。

ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ
>

通信途中エラー

カキコミエラーテ゛ス
>>>>>>>>

書き込みエラー

接続が断線した可能性があります。コネクタを接続しなおし、ケーブルに負荷がかからないようにして、もう一度やりなおしてください。
伝送ユニットに障害が発生した可能性があります。伝送ユニットを再起動して、もう一度やりなおしてください。

テ゛ータエラーテ゛ス

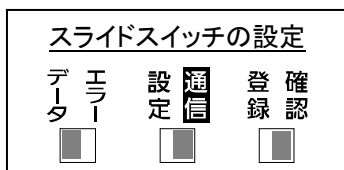
読み込みエラー
データが壊れている可能性があります。バックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行い、もう一度やりなおしてください。

アト゛レステ゛ータ　ソウシン
ソウシンキーヲナカ゛オシスル

送信電源リセット
送信完了メッセージが正常に表示されずに初期表示に戻ったときは、接続が断線などによりデータ設定器が再起動しています。もう一度やりなおしてください。

６．伝送ユニットからアドレスデータの読み出し

伝送ユニットにデータ設定器を必ず接続してください。

スライドスイッチの設定
データ エラー / 設定 **通信** / 登録 確認

①表示内容 SW : データ、通信モード SW : 通信、操作モード SW : 確認 とします。

アト゛レステ゛ータ　シ゛ュシン
シ゛ュシンキーヲナカ゛オシスル

②［受信］ボタンを 1 秒間押します。

テ゛ータシ゛ュシンチュウ
>>>>>>>>>>>>>>>>

③受信中の表示が約 30 秒分間続きます。

シ゛ュシンカンリョウシマシタ
>>>>>>>>>>>>>>>>

④アドレスデータ受信完了が表示されれば、終了です。

ツウシンテ゛キマセンテシタ

未接続エラー
伝送ユニットにデータ設定器を接続してください。
伝送ユニットが正常に起動しているか確認してください。

ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ
>

通信途中エラー
接続が断線した可能性があります。コネクタを接続しなおし、ケーブルに負荷がかからないようにして、もう一度やりなおしてください。
伝送ユニットに障害が発生した可能性があります。伝送ユニットを再起動して、もう一度やりなおしてください。

テ゛ータエラーテ゛ス

読み込みエラー
データが壊れている可能性があります。バックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行い、もう一度やりなおしてください。

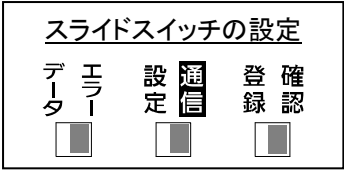
アト゛レステ゛ータ　シ゛ュシン
シ゛ュシンキーヲナカ゛オシスル

受信電源リセット
受信完了メッセージが正常に表示されずに初期表示に戻ったときは、接続が断線などによりデータ設定器が再起動しています。もう一度やりなおしてください。

【注意】
読み出したデータは、メモリ上に保存されています。
作業を中断するときは、必ず**アドレスデータの設定作業**後、スライドスイッチを切り替えて、バックアップ保存後、電源をお切りください。
誤ってデータを受信し、元のデータに戻したいときは、バックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行ってください。

7．伝送ユニットからエラーデータの読み出し

スライドスイッチの設定

データ　エラー　設定　**通信**　登録　確認

①表示内容 SW : エラー、通信モード SW : 通信、操作モード SW : 確認 とします。

エラーテ゛ータ　シ゛ュシン
シ゛ュシンキーヲナカ゛オシスル

②［受信］ボタンを 1 秒間押します。

エラーテ゛ータシ゛ュシンチュウ
>>>>>>>>>>>>>>>>

③受信中の表示が約 30 秒間続きます。

シ゛ュシンカンリョウシマシタ
>>>>>>>>>>>>>>>>

④エラーデータ受信完了が表示されれば、終了です。

ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ
>

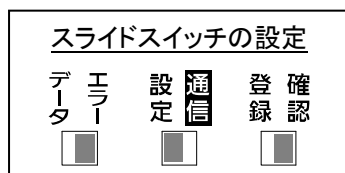
通信途中エラー
接続が断線した可能性があります。コネクタを接続しなおし、ケーブルに負荷がかからないようにして、もう一度やりなおしてください。
伝送ユニットに障害が発生した可能性があります。伝送ユニットを再起動して、もう一度やりなおしてください。

エラーテ゛ータ　シ゛ュシン
シ゛ュシンキーヲナカ゛オシスル

受信電源リセット
受信完了メッセージが正常に表示されずに初期表示に戻ったときは、接続が断線などによりデータ設定器が再起動しています。もう一度やりなおしてください。

８．エラーデータの確認

スライドスイッチの設定

データ	エラー	設定	通信	登録	確認

①表示内容 SW : エラー、通信モード SW : 設定、操作モード SW : 確認 とします。

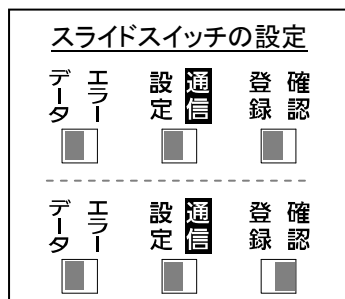
②［確認］ボタンを押し、エラーを確認します。

［確認］ボタンを繰り返し押すと、発生しているエラーが次々表示されます。

表示	説明
エラー　チャンネル：００１ セイシ゛ョウ	正常 チャンネル毎に表示
エラー　チャンネル：ーーー タンラク	短絡エラー チャンネルの前に表示 （発生検知直後に取得した場合のみ）
エラー　チャンネル：００１ テ゛ンソウ	伝送エラー 発生時にチャンネル毎に表示
エラー　チャンネル：００１ ヘンシンナシ	返信なしエラー 発生時にチャンネル毎に表示

【注意】
エラーデータは、255 チャンネル全て保存されています。
設定されていないチャンネルは「セイジョウ」表示されます。
短絡エラーは起動時に短絡検知しエラー表示の LED2 点灯中にエラーデータの読み出しを行ったときのみ表示されます。

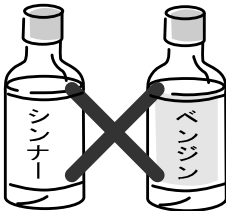
９．バックアップデータの復元

復元されるデータは、モード・アドレスデータの登録作業後、いずれかのスライドスイッチが切り替えたときに保存されたデータです。

①表示内容 SW : データ、通信モード SW : 設定、操作モード SW : 登録または確認 とします。

※下記のような状況になったとき、バックアップデータをメモリ上に復元することが可能です。

１）バックアップ保存後のデータを誤って修正登録してしまったとき
２）バックアップ保存後、誤ってアドレスデータ受信を行ったとき

②［確認］ボタンと［登録］ボタンを同時に 3 秒間押します。

テ゛ータフクケ゛ンチュウ

③復元中の表示が消えれば、復元完了です。

Ⅶ. お手入れ方法

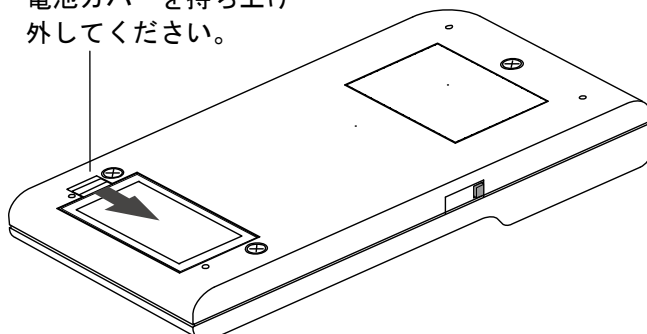
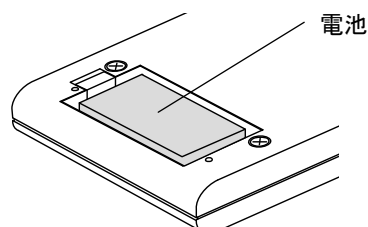
１．日常のお手入れ

表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れしてください 。

普段のお掃除のとき
柔らかい布でふき取ってください。
汚れが目立つとき
水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に浸して、軽くふき取ってください。 それ以外のものを使用すると、変色や文字欠けの原因となります。

【重要】
長期間使用しないときはアルカリ電池を外しておいてください。

２．電池の交換方法

データ設定器を裏面から見た状態です。

電池カバーを外すと、電池が入っていますので取り出してください。
初めて電池をセットされる場合は電池用コネクタを引き出してください。
※ケーブルを強く引っ張らないようにしてください。

<table>
<tr><th>電池を接続する場合</th><th>電池を外す場合</th></tr>
<tr><td>電池収納部内部にある電池用コネクタを下図のように引き出した後、電池を接続してください。

【注意】
下記電池をお使いください。
006P アルカリ電池:9V</td><td>電池収納部内部にある電池を下図のように引き出した後、電池を外してください。

この部分を引っ張って、電池用コネクタを外してください。
【注意】
電池用コネクタを外す場合はケーブルを引っ張らないでください。
ケーブルが断線します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電池と電池用コネクタを接続後、電池収納部に収納してください。
余分なケーブルはケーブルの出てきている穴に押し込むと電池の収納が容易になります。
その後電池カバーを取り付けてください。
以上で電池交換は完了です。
液晶表示部にバックアップデータ復元作業のためのメッセージが表示されます。
[登録]キーを長押しするとバックアップデータがメモリ上に復元されます。</td></tr>
</table>

Ⅷ. トラブルが発生したとき

状態	確認内容	対処方法
電源スイッチをONにしても、液晶表示部に何も表示されない。または、液晶表示部が薄くなっている。	電池が正しく接続されているか確認してください。	電池切れを起こしている場合は電池を交換するか（→P.22「Ⅶ-2. 電池の交換方法」参照）、伝送ユニットに接続してください。（→P.6「Ⅲ. 伝送ユニットとの接続方法」参照）
作業中にデータ復元状態になる。	データ設定器の電池が寿命ではないか確認してください。	新しい電池と交換してください。（→P.22「Ⅶ-2. 電池の交換方法」参照）
「カクニンモート゛ニシテクタ゛サイ」というメッセージが表示される。	スライドスイッチの状態を確認してください。	エラーデータの受信、確認は操作モードSWを「確認」にしてください。
出退表示システムの各機器の動作が伝送ユニットに設定した内容と異なっている。	データ送信に失敗している可能性があります。	再度、伝送ユニットにデータ設定器を接続し、送信してください。
	データ設定器のアドレスデータが壊れている可能性があります。	バックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行い、もう一度やりなおしてください。
伝送ユニットに接続して通信しているときに下記のメッセージが表示され、通信に失敗する。		
ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ	伝送ユニットが正常に起動しているか確認してください。	伝送ユニットにデータ設定器を接続してください。（→P.6「Ⅲ. 伝送ユニットとの接続方法」参照）
	伝送ユニットのモード設定スイッチが「設定情報」以外になっていないか確認してください。	伝送ユニットのモード設定スイッチを「設定情報」1：OFF/2：OFFとしてください。
ツウシンテ゛キマセンテ゛シタ >	接続が断線した可能性があります。	コネクタを接続しなおし、ケーブルに負荷がかからないようにして、もう一度やりなおしてください。
	伝送ユニットに障害が発生した可能性があります。	伝送ユニットを再起動して、もう一度やりなおしてください。
カキコミエラーテ゛ス >>>>>>>>	接続が断線した可能性があります。	コネクタを接続しなおし、ケーブルに負荷がかからないようにして、もう一度やりなおしてください。
	伝送ユニットに障害が発生した可能性があります。	伝送ユニットを再起動して、もう一度やりなおしてください。
テ゛ータエラーテ゛ス	データが壊れている可能性があります。	バックアップデータの復元（→P.20「Ⅵ-9.バックアップデータの復元」参照）を行い、もう一度やりなおしてください。

Ⅸ. 仕様

項目		仕様
外形寸法		86×165×30mm
重量		約 220g（電池は含まない）
伝送ユニット接続時電源		DC5V
電池使用時（006P アルカリ電池） 動作電圧範囲		7.2V～9.6V
LCD 表示		16 桁×2 行　液晶ドットマトリックス
入力装置	3 スライドスイッチ	モード切替
	9 テンキー	チャンネル、窓、名前番号（＋、－）、クリア、
		確認/受信、登録/送信
通信条件	伝送線	専用ケーブル 2m
	接続コネクタ	モジュラージャック（6 極 4 芯）
	通信方式	RS232C
使用温度範囲		0℃～40℃
使用湿度範囲		10%～85%（但し、結露なきこと）
機能仕様 ※伝送ユニット(EDN76210)に対して右記操作が行えること		モード、色順　設定（修正を含む）
		チャンネル、窓番号、名前　アドレスデータ　設定（修正、削除を含む）、保存、一括削除、確認および名前番号から検索
		設定データの伝送ユニットへ送信、伝送ユニットから受信
		エラーデータの伝送ユニットから受信、確認
		電源 OFF 時のデータ保持

アフターサービス（よくお読みください）

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談について

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、施工された工事店にご連絡ください。

■修理を依頼されるとき

23 ページの表に従ってご確認のあと、直らない場合は工事店にご連絡ください。

■ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	納 入 日	年　　月　　日	品番	
	工事店名	電話　（　　　）　　　－ ＦＡＸ（　　　）　　　－		
	販売店名	電話　（　　　）　　　－ ＦＡＸ（　　　）　　　－		

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555　三重県津市藤方 1668 番地
電話　0120-283338（フリーダイヤル）
FAX　0120-551626（フリーダイヤル）

EDN79000-h-002-V03
1106-20112 PEW